

平成 23 年度 主要な政策に係る評価書

分野	情報通信（ICT政策）			政策の予算額・執行額（百万円）		評価実施時期	平成 23 年 9 月
	政策名	政策 10：情報通信技術の研究開発・標準化の推進			22 年度	23 年度	担当部局
基本目標	国民が ICT の真価を実感できるユビキタスネットワーク社会の実現に向けた情報通信技術の研究開発・標準化を推進し、我が国の国際競争力の強化や安全・安心な社会の実現のために必要な技術確立する。			予算額	30,975 百万円	19,333 百万円	
政策の概要	我が国の国際競争力の強化や安全・安心な社会の実現に向けて、情報通信技術の研究開発及び標準化を積極的に推進する。具体的には、国際競争力強化に資する研究開発の課題への重点化を行うとともに、中長期的な戦略「我が国の国際競争力を強化するための ICT 研究開発・標準化戦略」（平成 20 年 6 月 27 日）、「新たな情報通信技術戦略」（平成 22 年 5 月 11 日）等に基づく取組を実施する。			執行額	27,585 百万円		作成責任者名 情報通信国際戦略局 技術政策課長 岡野 直樹
施策目標	施策目標の達成度を測る指標		指標の設定についての考え方 (施策目標との因果関係)	指標の状況		実施状況及び施策目標の達成状況	
		目標(値) 【目標年度】		21 年度実績	22 年度実績		
国際競争力の強化及び社会問題解決に資する研究開発を効果的・重点的に推進し、研究開発の成果を展開するとともに、「グローバルスタンダード」策定に貢献する。	1	外部専門家による評価において、当初の見込み以上の成果があったと判定された課題の割合	研究開発・標準化の進捗及び目標達成度を客観的に評価・把握するため、外部専門家による評価を実施する。	—	96%	平成 22 年度においては、戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)、地球温暖化対策 ICT イノベーション推進事業(PREDICT)等により 137 件が当初の見込み以上の成果があったとの評価を得ることで、左記のとおり目標を達成するなど、研究開発の成果の展開とともに、「グローバルスタンダード」策定に貢献した。	
	2	研究開発の成果に基づき、査読済論文発表、国内外の特許出願、あるいは国際標準提案を実施した課題の割合	外部専門家の評価に加え、研究開発・標準化の進展状況を定量的に評価・把握するため、論文発表等の件数を指標として設定する。 なお、論文審査等に要する時間を考慮して、目標年度は研究開発終了 1 年後とする。	—	84%	平成 22 年度においては、戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)、地球温暖化対策 ICT イノベーション推進事業(PREDICT)等により 117 件が研究開発・標準化の進展の成果があったとの評価を得ることで、左記のとおり目標を達成するなど、研究開発の成果の展開とともに、「グローバルスタンダード」策定に貢献した。	

達成手段		22年度 予算額	23年度 予算額	関連する 指標	達成手段の概要及び施策目標との関連性
1	情報通信技術の研究開発の推進	30,806 百万円	19,166 百万円	1、2	情報通信分野において、国際的水準に照らして優れた研究開発を効果的・効率的に推進し、研究開発の成果を展開する。また、各研究開発に対する外部専門家による評価及び研究開発成果状況を施策目標の指標とする。
2	情報通信技術の標準化の推進	169 百万円	167 百万円	2	技術革新メリットをユーザに還元、及び我が国の国際競争力強化の観点から、標準化に関する重点分野を選定し、情報通信分野における標準化活動に戦略的に取り組むことにより、「グローバルスタンダード」策定に貢献する。
政策全体の 総括的な評価		<p>平成 22 年度の総務省における情通信技術の研究開発については、設定目標を全て達成しているという外部専門家の評価を得ている。また、戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)、地球温暖化対策 ICT イノベーション推進事業(PREDICT)における多くの課題についても設定目標を全て達成しているという外部専門家の評価を得ており、ユビキタスネットワーク社会の実現に向け着実に取組効果が現れていることが認められる。</p> <p>また、国内外の標準化・技術動向等を調査し、情報通信審議会等における標準化重点分野の選定に活用するとともに、選定された標準化重点分野について、実証等から得られた技術仕様を関係企業等から構成するフォーラム等で情報共有し、標準化活動の取組を推進するなど、情報通信分野における標準化活動に戦略的に取り組むこととする。</p> <p>なお、「グリーンネットワーク基盤技術の研究開発」等、終了した研究開発の詳細な事後事業評価は別添のとおり。</p>			
関係する施政方針演説等内閣の重要政策 (主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日		関係部分(抜粋)	
	新たな情報通信技術戦略	平成 22 年 5 月 11 日		Ⅲ. 3. 3 新市場の創出と国際展開 (1) 環境技術と情報通信技術の融合による低炭素社会の実現 (2) 我が国が強みを持つ情報通信技術関連の研究開発等の推進	
	新成長戦略	平成 22 年 6 月 18 日		世界をリードするグリーン・イノベーション(環境エネルギー分野革新)やライフ・イノベーション(医療・介護分野革新)等を推進。	
	知的財産推進計画 2011	平成 23 年 6 月 3 日		<ul style="list-style-type: none"> ・ 策定された国際標準化戦略を実行するとともに、その結果を継続的確認する。 ・ 国際的な標準化機関での標準化活動への参画を促進するための財政的支援を強化する。 ・ 国が実施し、あるいは支援する研究開発において、フォーラム標準を含む国際標準化活動への参画のための支援を行う。 ・ 国際的な標準化機関について、総会を含む重要会合を日本へ積極的に誘致する。 ・ 諸外国の標準化団体との情報交換を通じ、産業界の要望を踏まえつつ、諸外国の国際標準化活動に関する情報を収集するとともに、その情報を関係者に適切に提供する。 	
学識経験を有する者の 知見の活用	<p><研究開発の推進></p> <p>○情報通信技術の研究開発の評価に関する会合 本会合及びその下に設けられた評価検討会において、総務省で実施する提案公募型の委託研究の個々の研究開発事業の終了評価等を行っており、その結果を評価書記載の参考とした。</p> <p>○戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)における評価委員会 本評価委員会において、戦略的情報通信研究開発推進制度により実施される個々の研究開発事業の目標達成状況等の評価を行っており、その結果を評価書記載の参考とした。</p> <p>○地球温暖化対策 ICT イノベーション推進事業(PREDICT)における評価委員会 本評価委員会において、地球温暖化対策 ICT イノベーション推進事業により実施される個々の研究開発事業の目標達成状況等の評価を行っており、その結果を評価書記載の参考とした。</p> <p><標準化の推進></p> <p>以下の会合において、外部構成員Sの意見を反映させた標準化政策を推進している。</p> <p>○通信・放送の融合・連携環境における標準化政策に関する検討委員会 (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/policyreports/joho_tsusin/renkei/index.html)</p> <p>○情報通信分野における標準化政策検討委員会 (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/policyreports/joho_tsusin/bunya/index.html)</p> <p>○グローバル時代における ICT 政策に関するタスクフォース (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/global_ict/index.html)</p>				
政策評価を行う過程 において使用した 資料その他の情報	<p>○戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)に関するホームページ (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/index.html)</p> <p>○ICT グリーンイノベーション推進事業(PREDICT)に関するホームページ (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/predict/index.html)</p> <p>○国の研究開発評価に関する大綱的指針(平成 20 年 10 月 31 日)</p> <p>○総務省情報通信研究評価実施指針(第 4 版)(平成 21 年 10 月)</p>				